

スローフード本場イタリアで出会った人々

「食守る」熱意と誇り

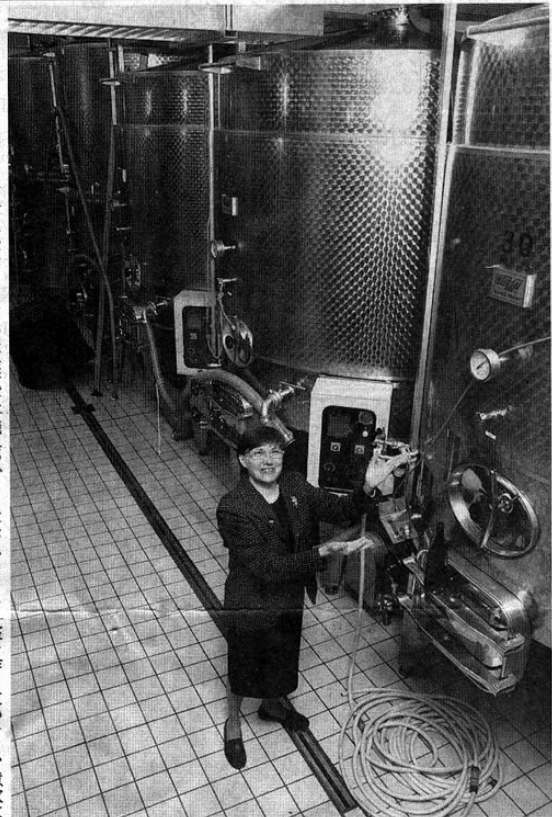
地域の伝統的な食文化、食材を守る「スローフード」の運動が、全国で広がってきた。昨年11月、その発祥の地・イタリアに食文化取材で訪れた。同国北部のピエモンテ州では、質の高い農作物やワインを作ろうと励む生産者、機能的な商品を売ろうとする企業家など、精力的に活動する人たちにたくさん出会った。県内でも、もっと運動が広がってほしいと願い、2回に分けて紹介する。

(坊 美生子)

地元ワインのイメージ一新

マリア・ポリオさん(59)シャトー(醸造所)の女性 性リーダーとして知られ、ピエモンテ州で30社長。地元ワインの品質と生産者や調理師、ジャーナリストで作る「女性ワイン」の歴史を誇る老舗 地位向上に奮闘してきた女

の会 同州代表も務めている。同州のワインは、30年ほど前までは品種名「バルベラ」で呼ばれていた。この家庭でも飲まれていたが、52リットルの巨大な容器で売られていたため、「安からう、悪からう」のイメージが強かったという。ポリオさんは、この地元ワインの名誉を回復しようと、巨大容器をやめて自社で瓶詰作業を始めた。750ml・5リットルのスリムなボ



新しく導入したタンクの前に立つポリオさん。醸造所内は予想以上に整然としていた

3年寝かせ高級リゾット米

目立たないよう、新たに商に拡大するなど、事業拡大 機具やグラスなど、ワイン 室を作りたい」と、意欲は進めてきた。「今後は農に関する物を収集して展示 尽きない。

兵庫12市

震災経験幹部ら7000人退職

今後5年 防災面で活用も  
 全職員の2割